

# 2012年度 活動計画のご紹介

## 研究大会



## 金曜サロン



## 大学等支援

# 2012年度総会 特集

## CONTENTS

2012年度総会報告 ..... 2

2012年度活動計画のご紹介  
研究大会「イベントサロン2012」の概要  
研究助成 イベント学研究会  
大学等支援 交流イベント 会計報告  
2012年度イベント学会役員

事務局からのお知らせ ..... 7

# 2012年度

# 総会 報告



イベント学会では、6月18日(月)四谷の弘済会館にて2012年度の理事会を開催。役員選任案、活動計画案などを承認し、引き続き実施した総会にて2012年度の活動計画を正式決定いたしました。

## 【2012年度総会】

- |       |                                |
|-------|--------------------------------|
| 第1号議案 | 役員選任(案)承認の件                    |
| 第2号議案 | 2011年度活動報告(案)<br>および決算書(案)承認の件 |
| 第3号議案 | 2012年度活動計画(案)<br>および予算書(案)承認の件 |

(議案書につきましてはイベント学会 Web にアップしております)



4月に実施した役員選挙の結果を報告する、選挙管理委員長の川本直彦副会長。  
(役員体制につきましては P6 にご紹介)



選挙の結果を受け、新たに役員となった加藤良子理事。



理事会にて事務局長交代案も承認。小林政則事務局長が退任し、小西功一新事務局長への交代が決定。  
(退任および着任挨拶は P7 にご紹介)



総会は委任状を含む 131 名の会員の参加をもって開催。



当日は順天堂大学、慶應義塾大学の学生ボランティアの皆さんにご協力いただきました。

# 2012年度活動計画のご紹介

総会の審議を経て決定した2012年度の活動計画をご紹介します。詳しい内容や開催日時につきましては、メールニュースおよびイベント学会Webでご案内いたします。各種活動への積極的なご参加をお待ちしております。

## 研究大会

### 「イベントサロン2012」(イベント学会第15回研究大会)

今年の研究大会は仙台を会場に、被災した地域と市民が困難を克服し、新たな目標を実現するために『イベント』が果たす役割と具体的なイベントの手法、事例、プランを提言します。

本大会は一般公開として、初日は「基調講演」「シンポジウム」「展示ブース」でのイベントによる復興の提言を行い、2日目は「口頭発表」「ポスター発表」「展示ブース」により、自由なテーマで会員や地元団体による様々な研究発表とパフォーマンスなどを行います。



**テーマ：「こころの復興とイベント」**

**会期：2012年9月11日(火)・12日(水)**

**会場：仙台メディアテーク（仙台市青葉区春日町2-1）**

**後援：仙台市、仙台商工会議所、河北新報社、仙台廣告業協会**

#### 申込方法

イベント学会 Web 内に研究大会専用ページを開設しております。下記ホームページより参加申込フォームにアクセスし、必要事項を入力してお申込みください。後日メールにてご連絡いたします。

**URL** <http://www.eventology.org/>

#### 申込締切

- 口頭発表、ポスター発表、展示ブース出展希望者 2012年7月20日(金) 必着  
(口頭発表、ポスター発表希望者は抄録集原稿も7月20日(金) 必着にてお願いします。)
- 大会参加希望者 2012年8月27日(月) 必着

#### 参加費 聴講参加は入場無料

- 研究発表者エントリー費 個人・法人・自治会会員 5,000円(1人)  
準会員(学生・院生) 2,000円(1人)
- 交流パーティ参加費(任意) 5,000円(1人)

#### お問い合わせ先

イベント学会事務局

〒102-0082 東京都千代田区一番町13-7 一番町KGビル3階

電話：03-5215-1680 FAX：03-3238-7834 e-mail：[info\\_info@eventology.org](mailto:info_info@eventology.org)

## 研究助成

2012年度の助成対象研究が決定しました。下記の5題の研究に対して助成金を支給いたします。

研究テーマ	研究者
『まちなかバル実施についての考察とイベントが及ぼす地域・商店街への波及効果についての検証』	YUI企画 有限責任事業組合 山田 重昭
『国民体育大会と全国身体障害者スポーツ大会における式典イベントの有効性と課題』	順天堂大学大学院 スポーツ社会科学研究室グループ 代表者：岡田 梓、山田 亜沙妃
『東北復興博覧会の開催に関する政策提言の研究』	政策提言「東北復興博覧会」研究会 代表者：福井 昌平
『2012世界トライアスロンシリーズ横浜大会におけるISO 20121実効性評価』	社団法人日本イベント産業振興協会 主任研究員 越川 延明
『プロゴルフトーナメントマネジメントに関する事例研究』	広島経済大学経済学部 スポーツ経営学科 代表者：渡辺 泰弘

●2013年度の募集については2013年3月末頃の予定です。

## イベント学研究会

イベント学の研究推進と会員相互の交流を目的に、テーマに基づいた各種研究会を実施しています。研究会の開催日程につきましては、メールニュース、学会Webにて随時お知らせします。

### ● 復興イベント研究会（座長：野川 春夫 副会長）

東日本大震災からの「心の復興」と「経済の復興」に向け、イベントが果たすべき役割を探り、新しいイベントの提言を目指す研究会です。被災された方々と地域の復興にとどまらず、日本的心と経済の復興に寄与するイベントを提言できるよう活動を進めています。



### ● イベントマネジメント研究会（座長：岩崎 博 理事）

社会の動向にフィットしたイベントに注目し、その効果や具体的な手法、イベントマネジメントの在り方を具体的な事例をもとに研究していきます。



### ● 中国イベント研究会（座長：宮地 克昌 理事）

北京オリンピック、上海万博を契機に発展を続ける中国をはじめ、イベントで国や地域の振興をめざしている新興国などに対し、どのような企画やビジネスが展開できるのか、新しいイベントのニーズを調査・研究する研究会を実施しています。



### ● まち歩きイベント研究会（座長：小林 政則 理事） NEW

6月よりスタートした新しいスタイルの研究会。様々なエリアを実際に歩きながら、まち歩きイベントについて研究する「歩くサロン(あるサロ)」を開催していきます。



## 大学等支援

大学等教育機関が行うイベント学講座を後援して会員を講師として紹介しイベント学科創設に向けた支援活動を行います。

### ● 上智大学公開講座を後援

今秋開催予定の上智大学公開講座への後援と講師紹介を行います。詳しい内容は、メールニュースやイベント学会Webにてご紹介いたします。



## 交流イベント

### ● 金曜サロン(キンサロ)

イベントビジネスに携わる様々な分野の皆様と、それに関心をお持ちの学生の皆様などの情報交流の場として定期的に開催しているイベントです。このサロンを通して、新しい人的ネットワークが形成され、参加者の皆様の生活とビジネスがより充実されることを願って開催しております。

#### 〔第1部〕 プrezentation

様々なジャンルをテーマに研究発表や企業プレゼン、事例紹介の場としてお手軽にご利用いただいております。プレゼンをご希望の方はイベント学会事務局までご連絡ください。



#### 〔第2部〕 交流パーティ

プレゼンターと参加者との交流を深め、より深い情報交換を行っていただける場です。

開催日時：毎月最終金曜日 18:30～21:00  
(3月・8月を除く)  
場 所：法人会員企業・団体の会議室など  
参加費：1,000円



差し入れも大歓迎です



## 会計報告

2011年決算案および2012年予算案が、右記のとおり承認されました。詳細につきましてはイベント学会Webの「2012年度総会議案書」をご覧ください。

(単位：円)

	科目	11年度決算	12年度予算
収入の部	会費収入 計	8,164,790	8,350,000
	事業収入 計	1,501,592	1,100,000
	当期収入 計 (A)	9,666,382	9,450,000
	前期繰越収支差額	2,404,591	1,628,311
	収入合計 (B)	12,070,973	11,078,311
支出の部	事業費 計	5,473,171	6,000,000
	管理費 計	4,969,491	3,450,000
	当期支出 計 (C)	10,442,662	9,450,000
	当期収支差額 (A - C)	-776,280	0
	次期繰越収支差額 (B - C)	1,628,311	1,628,311

# 2012年度イベント学会役員

4月に実施いたしました役員改選選挙の結果を理事会・総会で審議し、2012年度のイベント学会役員は下記のとおり決定いたしました。

(2012年6月現在)

役職	氏名	会員種類	所属
会長	堺屋 太一	個人会員	(株)堺屋太一研究所 代表取締役
理事長	成田 純治	法人会員	(株)博報堂 代表取締役会長
副会長	川本 直彦	個人会員	法政大学SSI 講師
副会長	北本 正孟	個人会員	(株)カントリー 代表取締役
副会長	野川 春夫	個人会員	順天堂大学 教授
副会長	橋爪 紳也	個人会員	大阪府立大学 特別教授
副会長	望月 照彦	個人会員	多摩大学大学院 教授
副理事長	川村 治	法人会員	(株)テー・オー・ダブリュー 代表取締役会長兼社長
副理事長	広岡 正明	法人会員	TSP太陽(株) 代表取締役社長
副理事長	森 隆一	個人会員	(株)電通 特別顧問
副理事長	渡辺 勝	法人会員	(株)乃村工藝社 代表取締役社長
理事	浅葉 克己	個人会員	(株)浅葉克己デザイン室
理事	井関 利明	個人会員	慶應義塾大学 名誉教授
理事	岩崎 博	個人会員	エスシー・プランニング・オフィス 代表
理事	梶原 貞幸	個人会員	エス・エフメーカーズ(株) 取締役
理事	加藤 良子	個人会員	(株)エンコーポレーション 代表取締役
理事	小林 政則	個人会員	イベント学会 事務局
理事	間藤 芳樹	個人会員	羽衣国際大学 客員教授
理事	マリ クリストゥーヌ	個人会員	エムキューブインターナショナル
理事	光井 勇人	個人会員	(株)エイジ・エンタテインメント 代表取締役社長
理事	宮木 宗治	個人会員	静岡文化芸術大学 講師
理事	宮地 克昌	個人会員	福山大学 客員教授
理事	宮本 倫明	個人会員	ランダソシエイツ 代表
理事	師岡 文男	個人会員	上智大学 教授
理事	長沼 孝一郎	法人会員	(株)アサツーディ・ケイ 代表取締役 取締役会議長
理事	谷 喜久郎	法人会員	(株)新東通信 代表取締役会長
理事	渡辺 亮	法人会員	(株)丹青社 取締役会長
理事	森 隆一	法人会員	(株)電通 特別顧問
理事	桑原 常泰	法人会員	(株)東急エージェンシー 代表取締役社長
理事	太田 正治	法人会員	(社)日本イベント産業振興協会 専務理事
監事	園田 榮治	個人会員	(株)インタープラン 代表取締役会長
監事	原田 周平	個人会員	日本経済新聞社 社友

個人理事10名、法人理事10名、会長・理事長推薦理事10名、監事2名 計32名

## イベント学会入会手続き

1. 入会ご希望の方は、申込書(会員種類別)にご記入の上イベント学会事務局あてにご郵送ください。  
申込書は学会Webからダウンロードするか事務局へご請求ください。
2. 申込者については理事会等で審議し、入会を承認された方には入会承認書と振込み案内をお送りしますので入会金(初年度のみ・準会員は不要)と年会費を指定の口座にお振込みください。
3. これ以降、会報『イベントロジー』や研究報告書、研究大会、イベントなどのご案内をお届けします。

### イベント学会会費一覧(2012年4月~2013年3月)

会員種類	入会金	年会費	備考
1 )個人会員	5 000	10 000	個人
2 )準会員	なし	2 000	大学生、大学院生、専門学校生など
3 )自治体会員	20 000	50 000	地方自治体
4 )法人会員	(1口) 100 000	(1口) 100 000	企業、団体などの法人

法人会員は1口以上

(単位:円)

イベント学会 Web <http://www.eventology.org/>

# 事務局からのお知らせ

## 退任にあたり

『お楽しみはこれからです』

小林 政則 前事務局長（談）

Q. 事務局長の在任期間は？

A. 2007年から足掛け6年でした。

Q. 着任時の学会の印象は？

A. 健い先生方の集まりという感じで「敷居が高い」印象でした。

Q. 電通時代とのギャップは？

A. 先生方に謝金をお支払いしていたのが、今度は先生方から会費をいただく逆の立場になりました。事務局として当初はどんなサービスを会員の皆さんに提供すべきかが分かりませんでした。

Q. ご苦労された点は？

A. 会員には大学の先生や研究者だけでなくフリーの実務者や法人会員の社員、学生さんなど、さまざまな立場の方々がいらっしゃるので活動の柱（参加の機会）を創ることに苦心しました。

Q. 現在は「研究大会」が柱ですね？

A. イベント学会の場合は口頭発表などのように自由なテーマで大勢の会員が発表参加できるようになったのは2008年からです。会員がボランティアで計画から実施運営まで推進する「実行委員会方式」が定着したのもこの年の大会からです。これで（参加の機会）が一気に広がりました。また昨年から「復興イベント研究会」のように日常的な活動を続け、その成果を研究大会で発表するという流れができたことも柱の一つとして注目されます。

Q. 日常的な柱と言えば「金曜サロン」もそうですね？

A. キンサロは着任以来ほぼ毎月続けている異業種、異文化、異

世代の交流活動です。学会という一般にはなじみにくい固くて専門的なイメージを柔らかくするために始めました。ネーミングなどにご批判もありますが、これを機会に新規加入する会員さんも増えてきました。キンサロの常連だった学生さんが卒業、就職したので個人会員になりたいという話を聞くとやっぱりキンサロをやってよかったなあと思います。

Q. 小林さんにとって事務局長ってなんだったのでしょうか？

A. 堀屋会長がよく言われているように、プロデュースする側と事務局が一緒になってはならないと。イベント学会の場合は研究活動やイベントを企画・プロデュースするのは会員の皆さんであり、事務局は予算と工程管理に徹する「裏方」だと考えてやってきました。この考えは事務局に着任早々のころ「イベント論」を巡って大学の先生と論争になり、中途半端な理屈を展開してあとで大変恥ずかしい思いをした苦い経験に基づいています。

Q. 今後の進路は？

A. 「裏方」から「プロデューサー」に変身します。「まち歩きイベント研究会」を発足しました。故郷の「日暮里・谷中」を実際に歩きながら地域を紹介するイベントを実施してゆきます。これからは「自分が楽しむイベント」で皆さんにも喜んでいただける企画をお届けします。

Q. 最後に一言。

A. 6年間のご支援まことにありがとうございました。このたび事務局長を退任しましたが今後もイベント学会の事務局スタッフとして研究大会などの活動をサポートさせていただきます。

みなさん どうぞお楽しみに!!

## 就任挨拶

新事務局長 小西 功一



イベント学会小西です。

最初に感動したイベントって何だったのだろう。と紐解いていくと、小学4年の時の東京オリンピックへ行き着く。小学校の教室のテレビで毎日オリンピックが見られるし、遠足みたいにワクワクして国立競技場へ行き競技を見ました。それはあまりメジャーではないフィールド競技の応援にかり出された訳ですが、巨大な競技場、多くの外国人の真剣な眼差し、よく分からぬ競技ながら選手の歓喜と落胆を目にし、すごい瞬間に立ち会っていると子供ながらに感じました。

## 就任挨拶

新事務局次長 石川 毅



本年一月に着任の石川です。今までの会社環境とは異なる環境に戸惑いながら如何に事務局に身を置くべきか馴染めず、当初は苦労の連続。半年経過し、やっと我々の諸先輩方が苦労して築き上げ、現在に至るこの学会事務局を受継ぎつつ、更に来年15周年目に当たり、今後どう維持、発展させていくべきかを考えるのも課題だと思われ、自分なりに思考中。

その課題は三つの「維持と発展のイノベーション」と思われる。  
①「会員数の維持と発展」②「テーマの維持と発展」③「地域化と世界化の維持と発展」この三領域ないしは三分野を検討して

東京オリンピック後、庭の広い友達の家で走ったり、飛んだりと「オリンピックごっこ」を飽きもせず、したものです。まさにこれがイベントなんですね。究極のイベント効果です。今と違う時代の子供が鳥肌たった出来ごとです。

さて今年はオリンピックイヤー。そして8年後リオデジャネイロの次はどこで開催されるのでしょうか。私は再び東京でオリンピックが開催される事を願ってやみません。最高のイベントは一生ものの宝です。東京五輪開催に向か、低迷している国民の支持率を上げるお手伝いをして行ければと思います。その結果として、開催が決まればいいですね。啓蒙活動～支持率アップ～決定と、まるでホップ・ステップ・ジャンプの様に。

あっ、国立競技場で見た競技は確かにホップステップみたいな。

皆様、どうぞよろしくお願いします。

事務方=裏方作業に徹する。

一つ目は学会=会員存在で成立し、その会員数維持が重要で更に未入会の人々に興味を持たせ、学会の利点を伝え、納得・理解→加入して戴く事。会員の維持から拡大が第一ミッション。その仕掛けを考え、キンサロに重点を置くも、新たな視点も持つ。二つ目は現会員の課題と未加入会員の興味分野のテーマの発見と開発。経済・社会の進展とともにイベント分野にも新課題、問題提起があると思われ、それに沿った研究会等の開催者を募り、新分野、異分野との共同研究大会などの開催を促進。更に三つ目は国内の様々な地域や個人的なイベントから世界につながるイベントまで幅広く活動分野・領域を見据え、研究分野のローカル化とグローバル化を検討・・・という事など勝手に考え微力な自分の存在も力も省みず、ただひたすら、事務机上の夢想家を取りつつ、しくじりながらも皆様へ対応中。

イベントのチカラで、  
ハロの復興を。



# イベントサコン'12

～こころの復興とイベント～  
イベント学会第15回研究大会

2012.9.11<sup>tue</sup>→12<sup>wed</sup>

入場  
無料

会場／仙台メディアテーク  
(仙台市青葉区春日町2-1)

※9月11日(火) 10:00~19:00

「基調講演」～都市の復興とイベント～ 講演／堺屋太一 イベント学会会長

「シンポジウム」

第一部 「イベントで元気を呼ぶ、人を呼ぶ、ビジネスを呼ぶ」

モデレーター：木島 明博氏(東北大学総長特別補佐)

パネリスト：志賀野 桂一氏(東北文化学園大学 教授)

橋本 裕之 氏(追手門学院社会学部社会学科教授)

丸山 富雄 氏(仙台大学 副学長 大学院スポーツ科学研究科教授)

第二部 「復興と国際イベント」

モデレーター：橋爪 紳也氏(大阪府立大学特別教授・イベント学会副会長)

パネリスト：ヨーコ ゼッターランド氏

(日本体育協会 理事、バレセロナ五輪銅メダリスト)

福井 昌平氏((株)コミュニケーションデザイン研究所代表)

※9月12日(水) 10:00~17:00

口頭発表／ポスター発表／展示ブース

■主催／イベント学会 〒102-0082 東京都千代田区一番町13-7 一番町KGビル3階

■後援／仙台市、仙台商工会議所、河北新報社、仙台広告業協会

お問い合わせ

イベント学会

TEL.03-5215-1680 FAX.03-3238-7834

URL : <http://www.eventology.org/> Mail : [info\\_info@eventology.org](mailto:info_info@eventology.org)



「イベントロジー」  
NO.27/2012.Jul

◎発行人:堺屋太一 ◎編集人:小西功一 ◎発行日:2012年7月  
◎発行所:イベント学会事務局 〒102-0082 東京都千代田区一番町13-7(一番町KGビル3F)  
TEL:03-5215-1680 FAX:03-3238-7834 URL:<http://www.eventology.org/>